

第4回 外国人相談窓口担当者研修会

テーマ：子どもの発達障がいについて

日時：平成27年11月24日（火）13:30～16:30

会場：アスト津3階 ミーティングルームA・B

講師：多文化共生リソースセンター東海 副代表理事 河村 慎子さん
鈴鹿大学 教授 臨床心理士 仲 律子さん

主催：三重県

実施：(公財) 三重県国際交流財団

参加者：24人

研修会の内容：

- (1) 多文化共生リソースセンター東海の取り組み紹介
- (2) 相談の事例の紹介
- (3) 障がいを持つ外国人の子どもの現状と傾向
- (4) グループワーク

研修会の様子：

外国人住民の中には、発達障がいに関する悩みを持つ方は少なくありません。そこで、今回は「発達障がい」をテーマとして、第4回外国人相談窓口担当者研修会を開催しました。当日は県内の学校教員、通訳者、市役所の相談員、NPO職員等合わせて24名の参加がありました。なかでも学校の教員の方に多く参加いただきました。

講師の仲先生からのアセスメント問題点が深く印象に残る講義でした。日本での外国人児童生徒が抱える言葉の問題や学校生活への適応の問題は大きいと考えられます。また、学習の理解が進まないのは、言葉の問題であることが多いということでした。参加者から「アセスメントの問題点は大いに納得」、「とても理解を深めることができた」などの感想が寄せられました。

参加者のアンケート結果の意見：

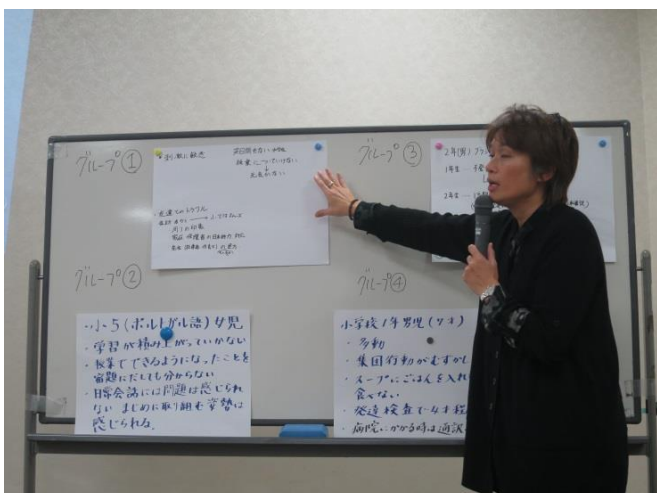
- 普段、外国の方と関わる機会もあり、子どもの発達面に関して疑問に思うこともあったが、今回の研修でとても理解を深めることができた。
- もっといろいろな話を聞きたかった。対応する上で、とても参考になった。困り感のある子に、発達検査をすすめようと思う。
- 外国にルーツをもつ児童や家族への支援は学校でその子にかかわる職員すべてが連携し、情報を共有し適切な指導や支援をすすめないといけないということを改めて感じた。
- 外国人児童の場合の障がいの見方がとてもよかった。
- 日々、発達支援に関わる中で、自分でも混乱して分からなくなってしまうことも、とても分かりやすく説明して頂いて、とても勉強になった。

写真

河村さんによる講義



仲さんによる講義



グループワーク

